

# 平成28年度予算見積調書

課室名：会計課  
 担当名：予算係  
 内線：2233

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B26	刑事警察費			一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	刑事警察活動費		
事業期間	昭和29年度～	根拠法令	警察法第2条			戦略項目				
					分野施策					
1 事業概要 捜査用装備資機材等の充実を図る。 (1) 捜査活動経費 215,179千円 (2) 捜査資機材の整備 167,067千円 (3) 指紋自動識別システム経費 117,554千円 (4) 自動車ナンバー自動読取システム維持経費 399,258千円 (5) 会議電話装置システム経費 163千円 (6) 国際捜査官等養成経費 9,638千円 (7) 民間人通訳関係経費 27,682千円 (8) 外国人共生対策経費 109千円 (9) 重要犯罪等捜査支援システムの整備 230,010千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 捜査活動費 捜査活動に対する報償費、旅費、捜査活動上不可欠な消耗品及び民間車両借上料等 215,179千円 イ 捜査資機材の整備 現場活動に必要な資機材や鑑定及び検視業務に使用する試薬類の購入経費及び機器検査委託料等 167,067千円 ウ 指紋自動識別システム経費 機器の借上げ料及び消耗品 117,554千円 エ 自動車ナンバー自動読取システム維持経費 システム維持管理のための電気料、回線使用料、委託料及び機器借上料 399,258千円 オ 会議電話装置システム経費 基本使用料及び通話料 163千円 カ 国際捜査官等養成経費 国際捜査官の語学力のスキルアップを図るための研修委託経費 9,638千円 キ 民間通訳人関係経費 外国人犯罪捜査に伴う民間通訳人に対する通訳料等 27,682千円 ク 外国人共生対策推進経費 外国人に対する情報発信に係る消耗品 109千円 ケ 重要犯罪等捜査支援システムの整備 システム維持管理のための電気料、回線使用料、機器借上料 230,010千円						
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)、(県10/10)				(2) 事業計画 捜査環境の整備強化、捜査用資機材等の適性な維持管理を図る。						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)警察費 (細目)警察活動費 (細目)刑事警察費 (積算内容)都道府県警察費補助金対象経費				(3) 事業効果 犯罪の広域化、巧妙化の進展等、捜査を取り巻く環境の悪化に、迅速かつ的確に対応し、県民生活の安全な生活と平穏を確保することで、県民の期待と信頼に応える。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	1,166,660	151,862						1,014,798	159,603	
前年額	1,007,057	154,171						852,886		